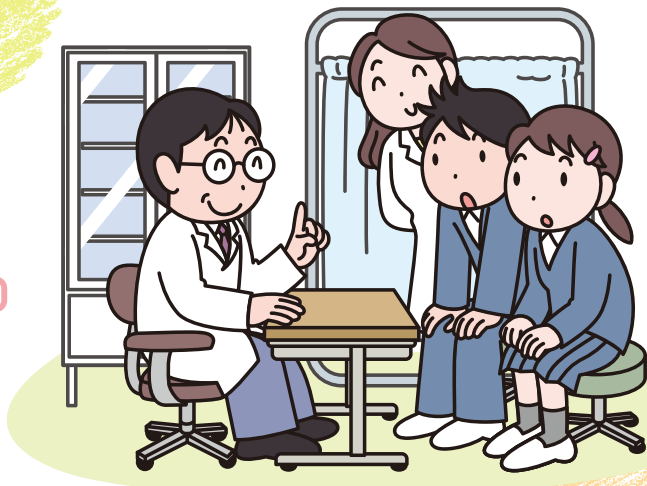


色の見え方



先天色覚異常ってなんですか？

生まれつき、色の見え方が多くの人と少し違うんだ。

《解説》 色の見え方には多様性があります。生まれつき、色の見え方が多くの人と少し違う人がいます。医学的には先天色覚異常と言います。色の見え方が変化したり、悪くなったりすることはありませんが、治すことはできません。日本人では、男性の約5%、女性の約0.2%です。白人は、その倍くらいの頻度です。



もしかしたら、色のない“白黒の世界”の見え方なんですか？

とんでもない。カラフルに見えているよ！

《解説》 決して白黒の世界ではなく、カラフルな見え方ですが、多くの人と混同しやすい色が違います。例えば、赤と緑でも、明るさや濃さ、背景の色によっては似た色に見える場合があります。色の対象物が小さいと、その傾向が強まります。



生まれつきなら、自分の色の見え方が皆と違うって分かりますか？

いや、本人も周囲の人も、気づかない場合が少なくないんだ。

《解説》 色の見え方は生れつきなので、本人は「誰もが自分と同じように見えている」と思っていて、自分が色覚異常だと気づいていない場合が少なくないのです。また、混同しやすい色はあっても、多くの場合は区別できるので、その人の色覚異常に周囲の人も気づかない場合が少なくありません。



普段の生活や仕事で困りませんか？

注意すべきことはあるけど、ほとんどの場合は大丈夫だよ。例えば疲れている時、周囲が暗い時などは注意した方がいいね。

《解説》 色覚異常の種類や程度によって、注意すべきことは違います。どういう時に、どういう注意をすればよいか分かっているならば、普段の生活や仕事で困ることはほとんどありません。心配なら、眼科医に相談するとよいでしょう。



じゃあ、自分の好きな職業を選べるんですね。

そうだね、でも幾つかの職業には就けない場合があるんだよ。

《解説》 鉄道運転手や航空管制官は現在のところなれません。また日本では、旅客機のパイロットにはなれないようです。自衛官、警察官などは、色覚異常の程度によっては就職できない場合があります。なお、自動車の普通運転免許はほとんどの場合、取得可能です。



だったら、色覚検査は受けておいた方が 良いということですね？

そうだよ。自分の色覚はどうなのか、知っておいた方がいいね。

《解説》 日常生活での注意点を知ったり、進学や就職を考えたりする上で、色覚検査は受けておいた方がよいでしょう。少なくとも、色覚異常があると制限される資格や職種を目指す人は、早めに受けておくべきでしょう。希望すれば、学校でも色覚のスクリーニング検査を受けられます。そこで異常の疑いがあれば、眼科で精密検査を受けましょう。



学校の先生たちも色覚の多様性を 知っていた方が安心ですね。

そのとおり。先生たちも色のバリアフリーについて理解し、それを実践してほしいね。

《解説》 授業では、色名で答えさせるように指示したり、色だけで意味づけをしたりしないようにしましょう。黒板には赤や緑色のチョークを使用せず、白・黄色チョークを中心に使用しましょう。なにより、クラスには色の見え方が違う生徒がいることを意識することが大切です。

